



平成 25 年 7 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 壺 番 屋
代表者名 代表取締役社長 浜 島 俊 哉
(コード番号 7630 東証・名証第 1 部)
問合せ先 常務取締役経営企画室担当 阪 口 裕 司
T E L 0586-81-0792

配当方針の変更および配当予想の修正等に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、配当方針の変更および配当予想の修正ならびに中間配当の実施と次期の配当予想について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当方針の変更について

(1) 主旨 <安定配当から、持続的な配当成長へ>

当社は、ステークホルダーと共に継続的な繁栄を成し遂げる経営、すなわち「継栄」を志向し、既存店の売上高を每期 1%伸ばしていくことを常なる課題としつつ、積極的に事業展開を進めてまいりました。

おかげさまで、2000 年 2 月に株式を上場して以来、比較的堅調に業績およびキャッシュフローは推移し、2011 年 5 月には無借金となるなど、財務体質の強化も相当程度進んでまいりました。

こうした状況に鑑み、今般株主の皆様への配当方針を、これまでの「安定配当」といったことから一步進め、「**持続的な配当成長の志向**」へと、変更することといたしました。

今後の経営環境は、これまで以上の厳しさも十分に予想され、業績変動リスクも益々増加していくものと考えられますが、より長期に「継栄」を実現し、株主の皆様のご期待に応えられるよう、今後共攻守のバランスをしっかりと取った経営を進めてまいる所存でございます。

(2) 配当方針の変更の内容

変更前	変更後
当社の株主の皆様に対する利益配分に関する基本方針は、事業推進のための投資と、経営を取り巻く様々なリスクに備えるために、財務基盤の強化に留意しつつ、安定的かつ利益に応じた株主還元を積極的に行なうことを基本としております。 一方、内部留保金につきましては、新規店舗の出店、既存店舗のリニューアル、新規事業等に投資し、業績の一層の向上に努めてまいる所存であります。	当社の株主の皆様に対する利益配分に関する基本方針は、 業績の動向および内部留保金の水準に留意しつつ、持続的な配当成長を志向 することを基本としております。 一方、内部留保金につきましては、経営を取り巻く様々なリスクへの備えの他、新規店舗の出店、既存店舗のリニューアル、新規事業等に投資し、業績の一層の向上に努めてまいる所存であります。

2. 配当予想の修正について

平成 25 年 5 月期の配当金につきましては、当期純利益が 21 億 64 百万円と前期比△3.1%の減益となりましたが、キャッシュフロー等の財務状態は引き続き堅調な状況でございますので、前述の新たな配当方針に則り、1 株当たり 5 円増配し 60 円とさせていただく予定でございます。

	1 株当たり配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 （平成 25 年 3 月 25 日発表）	—	55	55
今回修正予想	—	60	60
当期実績	—		
前期実績 （平成 24 年 5 月期）	—	55	55

3. 中間配当（第 2 四半期末）の実施と次期の配当予想について

これまで当社は、剰余金の配当について、期末配当の年 1 回実施を基本としておりましたが、株主の皆様への配当機会の増加を図るため、平成 26 年 5 月期より、中間配当（第 2 四半期末）と期末配当の年 2 回実施を基本とすることに変更いたします。

次期の配当金につきましては、当期に対して 1 株当たり 5 円増配の 65 円とし、中間配当は 1 株当たり 30 円、期末配当は 1 株当たり 35 円とさせていただく予定であります。

	1 株当たり配当金（円）		
	第 2 四半期末	期末	合計
平成 26 年 5 月期（予想）	30	35	65

以上